

市民クラブ市政報告

発行：姫路市議会市民クラブ 姫路市安田四丁目1番地 ☎：079-221-2042 編集責任者：常盤 真功



4月の統一地方選挙では、皆様大変お世話になりました。皆様のおかげで全員当選することができました。ありがとうございました。引き続き、『姫路市議会 市民クラブ』をよろしくお願い致します。

今回は、『電力・ガス・食料品等価格高騰総合対策』、『姫路市事務分掌条例改正の概要』、『姫路市教職員組合からの請願』、そして6/2～6/26までの25日間で開会された『令和5年第2回姫路市議会定例会での個人質疑』についてご報告致します。

I. 『電力・ガス・食料品等価格高騰総合対策』について

感染防止対策としての市民へのワクチン接種をはじめ、エネルギーや食料品価格等物価高騰の影響による市民や事業者の負担軽減するため、切れ目なく総合的な施策を実施する

○ 市民の「命」を守るために

- ▶ 新型コロナウイルスワクチン令和5年秋開始接種の実施
対象：初回接種(1・2回目接種)を完了した5歳以上の市民

○ 市民の「暮らし」を元気にするために

- ▶ 物価高騰に伴う市民生活への支援や地域経済の活性化を図るためプレミアム付き商品券の発行数の拡大 [20万セット(令和4年度2月補正)→30万セット]
- ▶ 地域公共交通事業者及び、市内観光事業者へ物価高騰対策として支援金を給付
- ▶ インバウンドを対象とした観光再始動事業の実施 等

○ 市民の「一生」に寄り添うために

- ▶ 子育て応援臨時給付金の支給
対象：18歳以下のすべての子ども1人当たり1万円(令和5年度に出生した子を含む)
- ▶ 私立大学、私立保育施設、高齢者施設、障がい者施設等へ物価高騰対策として支援金を給付

II. 『姫路市事務分掌条例改正の概要』について

しなやかさとバイタリティに溢れた姫路の未来を実現するため、効果的な市政を運営することができる組織体制を構築するべく組織改正を行う。

- **農林水産環境局** = 成長分野である環境分野と親和性の高い農林水産分野に関する業務を相互に効率的に遂行していくため、「環境局」並びに産業局内の「農林水産部」及び「中央卸売市場」を統合する。
- **観光経済局** = ポストコロナを見据えた暮らしを豊かにする観光・産業を振興していくため、「観光スポーツ局」並びに産業局内の「商工労働部」及び「道の駅整備室」を統合する。
(農林水産環境局及び観光経済局へ産業局の業務を移管したことに伴い、「産業局」を廃止)

III. 『姫路市教職員組合からの請願』について

姫路教職員組合より請願として提出され、文教・子育て委員会に付託された『義務教育費国庫負担制度の堅持、および負担率「二分の一」への復元と、30人以下学級の実現をはじめとする豊かな教育の保障を求めることについて』が採択され要望書を国へ送付することを確認しました。

IV. 『令和5年第2回姫路市議会定例会での個人質疑』について

常盤真功議員が質問しました

少子高齢化、人口減少社会への対応等について 市民の代弁者として質す！

【個人質問：質問日 6/9】

本定例会にて、7項目15点について個人質問しました。『少子高齢化、人口減少社会への対応について』、『適切な森林管理について』、『安全・安心な学校給食について』、の3項目についてご報告します。

●少子高齢化、人口減少社会への対応について

Q:清元市長が2期目の4年間も引き続きリーダーシップを取り、輝かしい姫路の未来へ必要とする財源をどのように確保し、「ともに生き、ともに輝く、にぎわい交流拠点都市 姫路」に向けてどのように様々な取り組みを進めていくのか。

A:2期目の市政運営をスタートするに当たり、積極的な施策展開と持続可能な財政運営の両立を図るため、昨今の社会経済情勢の変化を踏まえ、全庁的に事業の在り方を時代に即して抜本的に見直す「事業見直し」に着手するなど、行財政改革の取り組みを一層強化していく。

中長期的には、企業誘致や都市基盤整備による生活環境の充実、少子化対策・子ども支援などの取り組みを通じて、人口の社会増や経済の活性化を図り、財源確保につなげていく。

●適切な森林管理について

Q:人の生活における木との関わり方が時代とともに変化する中、放置された木が大径化し、虫が好む状態になり、ナラ枯れした木が多発している。ナラ枯れによる倒木等への対策はどうなっているのか。

A:自治会等からの要望に基づき、暴風等による倒木や崩壊の危険性が特に高い民家の裏山を優先的に、危険木の伐採や間伐等を行っている。

ナラ枯れによる倒木等の対策として、広範囲に整備を実施するほうが効果的であることから、面的に整備することを基本として、森林環境譲与税を活用した集落周辺森林整備事業や県民緑税を活用した里山防災林整備事業等を進めている(現地確認を行った上で、地権者の同意を得て、伐採等の対応を行うことが基本となる)。

●安全・安心な学校給食について

Q:令和5年度も引き続き物価高騰は止まらず、さらに厳しい状況となっているが、食材費予算をどのように補正し、学校給食用食材の確保に努めていくのか。今年度は、来年度から徴収する給食費の見直しを検討する年度と仄聞する。物価高騰により、1食当たりの給食費はかかなり高騰になっているが、給食費についてどのように考え、見直すのか。

A:令和5年度については、当初予算において国の臨時交付金を活用することで予算措置している。今後、食材費予算の不足が見込まれる場合には、学校給食の安定性確保のために補正予算での対応を検討する。給食費は4年ごとに見直しを行っている。

食材調達費の算定を行う上では、物価高騰の影響は避けられない状況ではあるが、給食費の改定については慎重に検討する。



竹尾浩司議員が質問しました

子どもと保護者が安心して暮らしやすい市政に ついて市民の代弁者として質す！

【個人質問：質問日 6/12】

本定例会にて、4項目について個人質問しました。『病児・病後児保育の充実について』、『大規模小学校における課題について』の2項目についてご報告します。

●病児・病後児保育の充実について

Q:働く保護者と子どもたちのために病児・病後児保育施設の増設や地域偏在の解消が必要と考えるが市としての認識はどうか？

A:まずは、子どもが病気になったときに保護者が休暇を取得しやすい働き方改革を目指すとともに、セーフティネットとしての病児・病後児保育施設については既存の施設配置状況を考慮しつつ利便性が高い地域での整備を推進していく。そのため、医療機関に対して医療機関併設型病児保育施設の開設に対する協力要請を行うとともに開設支援に取り組んでいく。

Q:電話予約がメインであるが、利用者が予約しやすいインターネットでの予約システムの在り方についての認識は？

A:利用者や未導入施設のニーズも踏まえながら、すでに導入している自治体の状況等について調査研究していきたい。

●大規模小学校における課題について

Q:大規模校である市立荒川小学校については、新たな分離新設校が開校するまでの約6年の間に、児童数が1200人程度まで増加する想定であるが、児童への影響とその解消策は？

A:荒川校区については、(仮称)荒川南小学校を設置することを公表したが、新校開校までの間、児童数増に対応した仮校舎を設置するほか様々な学校運営上の工夫によって教育環境をしっかりと維持していく。水泳授業については、幾つかのモデル事業の一つとして学校外の室内温室プールの利用についても検討している。また、体験活動についても学年単位での活動が難しい場合は分割で実施するなど実施方法を工夫している。

Q:大規模校化に伴い教職員も増加するが、職員室等の労働環境に問題はないのか？

A:児童数が急増している学校において特別教室、管理諸室等のレイアウトの関係上、職員室が狭いなどの課題を把握している。今後、管理諸室のレイアウトを見直す事で職員室のスペースを増やすことを予定している。

